

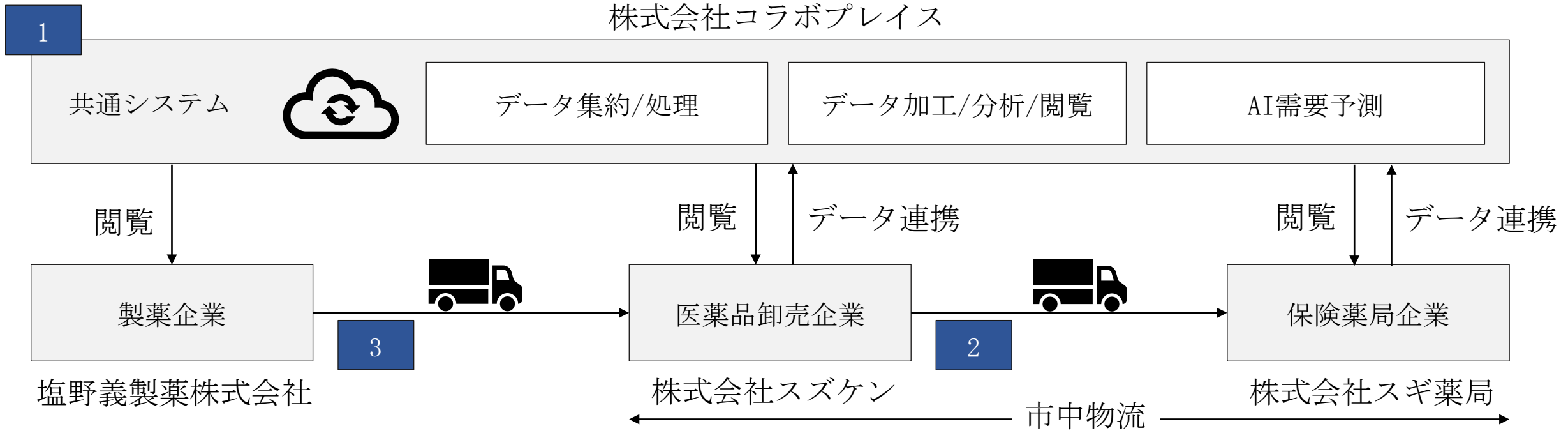
令和4年度「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業）」に係る補助事業者の1次公募の結果について

令和4年度「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業）」に係る補助事業者について、令和4年6月15日から7月29日まで公募を行い、応募のあった提案について、第三者で構成される審査委員会による厳正な審査を行った結果、次のとおり補助事業者を決定しましたのでお知らせいたします。

事業者	株式会社コラボプレイス
事業名	市中在庫の可視化を通じた医薬品物流の効率化による省エネ事業
補助金額	121,840,160円（補助率1/2 ※令和4年度のみ補助額）
事業の特徴	医療用医薬品サプライチェーンにおける医薬品卸売企業と保険薬局間の「仕入、在庫、販売データの可視化と共有化」に着目し、当該市中流通データのリアルタイム共有システムの構築、活用による頻回配送や至急配送、返品という物流課題の解消と、製薬企業へのデータ連携を目指すとともに、製薬企業から医薬品卸売業者への最適な医薬品供給や物流コストの最適化等を図り、サプライチェーン全体の効率化によるエネルギー削減を目指す事業です。 (事業実施期間はR4年度のみ)
省エネ率	▲ 6.3%の省エネ効果を見込む

事業の概要

医療用医薬品の市中物流データ（仕入・在庫・販売）の可視化に着目し、データの集約から加工、処理、分析、AI需要予測モデル構築を行い、製造・流通・小売全体で可視化・共有化する仕組みにより、医療用医薬品サプライチェーンにおける物流効率化によるエネルギー削減を目指します。



- 1 医療用医薬品の市中物流データを可視化・共有化・分析・需要予測し、EtoEで閲覧可能とする共通システム
- 2 閲覧データに基づく配送計画の策定、実施によるエネルギー削減
- 3 閲覧データに基づく配送計画の策定、実施によるエネルギー削減

事業全体計画と参画企業

- 事業期間は令和4年度としてエリア限定で検証を実施
- 事業期間終了後、共通システムを他の製薬企業や薬局への展開、対象エリアの拡大を進める

項目	R4年度	R5年度	R6年度
市中在庫可視化システム及びAI需要予測システムの構築	開発		
エリア限定検証		検証	
他の製薬企業や薬局及び対象エリアの拡大		拡大	

医療用医薬品サプライチェーンのEtoEの関係者4社が共同して、医薬品物流課題の解決による省エネに取り組む

